

たがじょう

市議会だより

No.125

令和5年(2023年)

12月1日発行

発行/多賀城市議会 編集/広報特別委員会

〒985-8531 宮城県多賀城市中央2-1-1 [電話 022-368-3053 FAX 022-368-1397]



議会人事	P 2
令和4年度決算審議	6
令和5年第3回定例会結果	8
あんなことこんなこと議論の足跡	10
令和4年度決算賛成・反対討論	14
一般質問	16
新広報特別委員会の紹介	21
本会議場閉場式	22

▲ 10月から活動を開始した
第二中学校生徒会役員の皆さん

ために！ って決意新たに！！



副議長
米澤 まき子



議長
森 長一郎

「いよいよ」

このたびの改選で議長、副議長に就任いたしました。もとより微力ではございますが、決意を新たにし、多賀城市の発展と住民福祉の向上、そして公正かつ円滑な議会運営のため、誠心誠意努めてまいります。

世界的に猛威を振るった新型コロナウイルス感染症の感染経路上の位置付けが、五類へと移行されたことに伴い、一日も早くコロナ禍以前の生活へと戻れることを強く念願しているところであります。一方で、現在では物価高という課題が、人々の生活に重くのしかかっております。市議会といたしましては、市民の皆様が家庭、職場、学校、地域などあらゆる暮らしの場面において、平穏な日常を送ることができるよう、市当局と車の両輪のごとく、様々な課題の解決に努めてまいります。

令和六年、多賀城は、創建1300年という記念すべき大きな節目の年を迎えます。多賀城の創建以来の歩みを振り返りながら、新たな多賀城の発展に向け、これまで以上に、市民皆様の信頼に応えられる議会として、研鑽を積んでまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

議長 森 長一郎
副議長 米澤 まき子

監査委員

根本 朝栄

議会運営委員会

議会の会期について審議するなど、議会運営の全般について協議します。

委員長 板橋 恵一
副委員長 鈴木 新津男
委員 中田 定行
委員 根本 朝栄
委員 佐藤 雅博
委員 竹谷 英昭

多賀城創建1300年 事業調査特別委員会

多賀城創建1300年事業の達成に向け、必要な調査や提言を行います。

委員長 阿部 正幸
副委員長 鈴木 新津男
委員 全 議員

広報特別委員会

議会だよりの発行など、議会広報について協議します。

委員長 佐藤 雅博
副委員長 齋藤 裕子
委員 伊藤 真弓
委員 池田 純
委員 大内 裕太
委員 大場 和晃

組合等議会議員

●宮城県東部衛生処理組合議会

佐藤 雅博
昌浦 泰己

●塩釜地区消防事務組合議会

阿部 正幸
鈴木 新津男

●宮城県後期高齢者医療広域連合議会

竹谷 英昭
中田 定行

すべては市民の 未来に向か

議会新体制の発足 ～正副議長、委員会等の構成メンバーを選任～

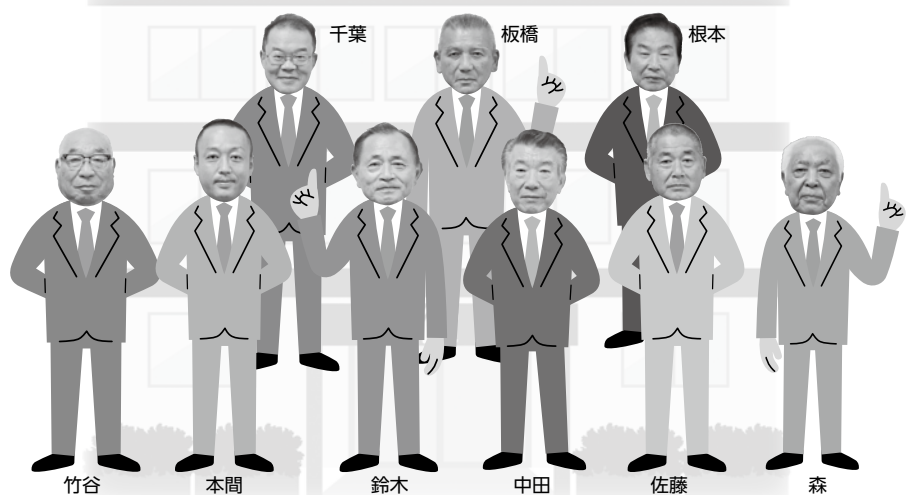
9月19日に開会した定例会初日、議長、副議長を選任しました。
また、9月21日には各組合等議会議員、常任委員会委員、議会運営委員会委員、多賀城創建1300年事業調査特別委員会委員、広報特別委員会委員の選任を行いました。

総務産業常任委員会

市の政策のうち、総合計画や財政、産業の振興、税金、生活環境、上・下水道のことなどに関する仕事を調査し、市民代表の立場からチェックします。

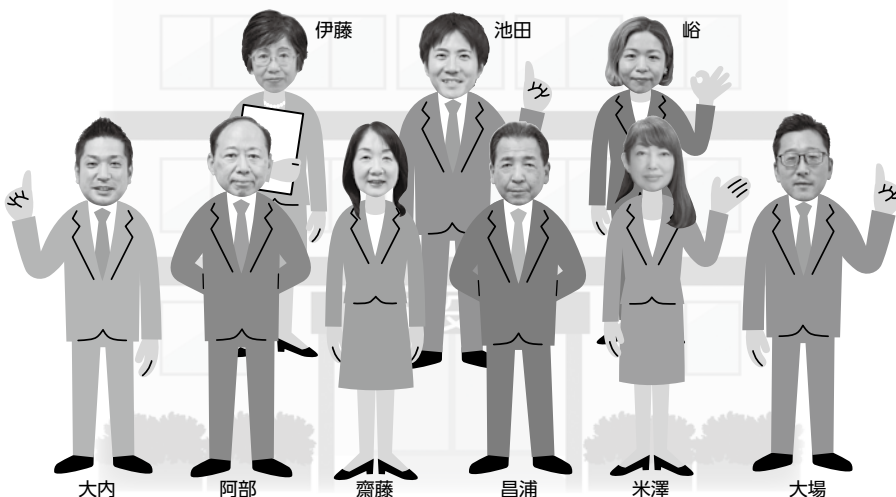
氏名	所属会派
◎中田 定行	日本共産党
○鈴木 新津男	自由民主党
本間 圭	自由民主党
千葉 文昭	自由民主党
根本 朝栄	公明党
佐藤 雅博	自由民主党
板橋 恵一	多賀城市民の会
竹谷 英昭	新世紀クラブ
森 長一郎	無会派

◎委員長 ○副委員長



文教厚生常任委員会

市長や教育委員会が行う政策のうち、小中学校の教育、文化芸術の振興、健康や福祉に関する仕事などを調査し、市民代表の立場からチェックします。



氏名	所属会派
◎齋藤 裕子	公明党
○昌浦 泰巳	市民クラブ
峪 道子	日本共産党
伊藤 真弓	日本共産党
池田 純	多賀城の未来を照らす会
大内 裕太	自由民主党
大場 和晃	自由民主党
阿部 正幸	公明党
米澤 まき子	自由民主党

◎委員長 ○副委員長

を紹介します

任期:令和5年9月11日~令和9年9月10日

議席番号 氏名

- ①所属会派
- ②住所
- ③連絡先
- ④当選回数



いけだ じゅん
③ 池田 純

- ① 多賀城の未来を照らす会
- ② 浮島 1-7-10
- ③ 080-5732-9401
- ④ 1回



いとう まゆみ
② 伊藤 真弓

- ① 日本共産党多賀城市議団
- ② 伝上山 2-10-21
- ③ 080-3141-3849
- ④ 1回



さこ みちこ
① 峪 道子

- ① 日本共産党多賀城市議団
- ② 中央 3-25-7
- ③ 090-2992-1175
- ④ 1回



あべ まさゆき
⑨ 阿部 正幸

- ① 公明党多賀城市議団
- ② 町前 2-1-10-603
- ③ 781-8577
- ④ 4回



なかだ さだゆき
⑧ 中田 定行

- ① 日本共産党多賀城市議団
- ② 東田中 1-14-14
- ③ 368-1338
- ④ 3回



ちば ふみあき
⑦ 千葉 文昭

- ① 自由民主党多賀城市議団
- ② 中央 3-13-16
- ③ 090-3504-6405
- ④ 1回



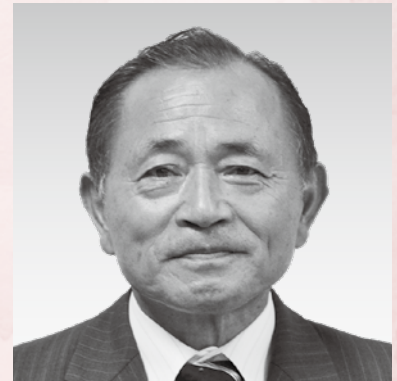
いたばし けいいち
⑮ 板橋 恵一

- ① 多賀城市民の会
- ② 笠神 1-12-30
- ③ 362-8434
- ④ 7回



よねざわ まきこ
⑭ 米澤 まき子

- ① 自由民主党多賀城市議団
- ② 大代 2-4-15
- ③ 090-3121-0524
- ④ 5回



すずき しずお
⑬ 鈴木 新津男

- ① 自由民主党多賀城市議団
- ② 高橋 2-5-31
- ③ 368-5794
- ④ 3回

新議員18人



ほんま けい
⑥ 本間 圭
①自由民主党多賀城市議団
②中央 2-13-29
③ 080-5019-0001
④ 1回



おおば かずあき
⑤ 大場 和晃
①自由民主党多賀城市議団
②八幡 3-14-29
③ 080-3339-5508
④ 1回



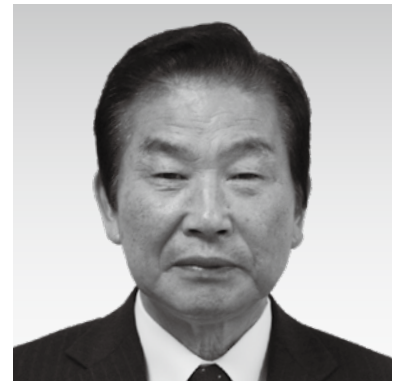
おおうち ゆうた
④ 大内 裕太
①自由民主党多賀城市議団
②山王字北寿福寺 29-15
③ 090-3644-3092
④ 1回



さとう まさひろ
⑫ 佐藤 雅博
①自由民主党多賀城市議団
②市川字大畑 12
③ 368-0080
④ 3回



さいとう ゆうこ
⑪ 齋藤 裕子
①公明党多賀城市議団
②中央 2-24-54
③ 368-7913
④ 3回



ねもと あさえ
⑩ 根本 朝栄
①公明党多賀城市議団
②新田字後 7
③ 368-8348
④ 8回



もり ちよういちろう
⑬ 森 長一郎
①無会派
②下馬 4-1-25
③ 364-3802
④ 7回



たけや ひであき
⑰ 竹谷 英昭
①新世紀クラブ
②城南 2-12-2
③ 368-7878
④ 13回



まさうら やすみ
⑯ 昌浦 泰巳
①市民クラブ
②東田中 2-40-27-1003
③ 309-3824
④ 9回

～多賀城創建1300年へ つなぐ・つなげる～

第3回定例会では、第六次多賀城市総合計画の2年度目となる令和4年度における各会計決算の審査を行いました。

コロナ禍にあって、市民生活の安心安全な生活を確保するために行った各種施策を総括し、地域経済の活性化や災害対策、乳幼児から高齢者までの幅広い健康福祉対策、来る多賀城創建1300年に向けた記念関連事業など、よりよいまちづくりのための議論を行いました。

令和4年度に実施された主な事業

(◎第六次多賀城市総合計画における7つの政策分野)

政策1 みんなの力で減災 安全で安心 に暮らせるまちづくり(安全安心)

- 地域防災計画・ハザードマップ改定事業
- 市庁舎耐震対策等事業
- 防災情報管理事業

政策2 健やかで優しい 支え合いの あるまちづくり(健康福祉)

- 妊産婦・乳児一般健康診査等事業
- 子ども医療費助成事業
- 教育・保育施設等整備推進事業
- 公営住宅ストック総合事業事業

政策3 夢と希望が輝く 誰もが成長 できるまちづくり(教育文化)

- 小中学校施設維持管理事業
- 小中学校ICT整備事業
- 文化センター改修事業
- 特別史跡多賀城跡復元整備事業

政策4 都市と自然の環境調和 快適 で潤いのあるまちづくり(生活環境)

- 中央公園魅力創造事業
- 道路維持管理事業
- 雨水施設ストックマネジメント事業
- 浸水対策下水道整備事業



令和4年度に復元された多賀城南門

政策5 地域の資源と知恵をいかす 活気あふれるまちづくり(産業活気)

- 大区画ほ場整備促進事業
- 農地活用次世代型農業促進事業
- 創業支援事業(多賀城みらい塾)

政策6 地域の未来を共に創る 絆と 誇りを築くまちづくり(地域創生)

- 地域経営基盤構築事業
- 多賀城の若者 みらい創造事業
- 多賀城創建1300年記念関連事業

政策7 縮減社会への対応 持続可能 な行財政経営(行財政経営)

- 下水道事業経営健全化事業(汚水)
- デジタル行政推進事業

令和4年度決算を認定

令和4年度に行った新型コロナウイルス感染症及び物価高騰対策関連事業 (総額1,491,256千円)の主なもの

- 1 感染拡大の防止 515,817千円
 - ・新型コロナウイルス予防接種事業 383,940千円 など
- 2 雇用の維持と事業の継続 57,528千円
 - ・第2期事業活動応援特別支援金支給事業 48,458千円 など
- 3 市民生活の支援 481,379千円
 - ・低所得子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金給付事業 76,690千円
 - ・割増商品券発行事業 168,425千円 など
- 4 経済活動の回復(物価高騰対策を含む) 436,532千円
 - ・電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金支給事業 265,702千円
 - ・子育て応援臨時給付金給付事業 161,100千円
 - ・住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業 102,219千円 など

一般会計及び特別会計決算

(単位：円)

区 分		歳入決算額	歳出決算額	差し引き額
一般		27,682,226,336	25,691,193,644	1,991,032,692
特別会計	国民健康保険	5,411,705,597	5,405,276,561	6,429,036
	後期高齢者医療	721,060,874	717,029,626	4,031,248
	介護保険	4,301,651,859	4,218,166,058	83,485,801
合計		38,116,644,666	36,031,665,889	2,084,978,777

財政状況

区 分	令和4年度	令和3年度	備 考
財政力指数	0.70	0.71	「1」に近いほどあるいは「1」を超えるほど財政力がある
経常収支比率	99.3%	96.0%	80%を超えると財政構造の弾力性が失われつつある
公債費比率	6.3%	4.6%	10%を超えないことが望ましい

※本市の経常収支比率は、東日本大震災以降特に高い水準となっていました。令和2年度以降は100%を切る数値となっています。

財政健全化判断比率（水道、下水道会計を除く）

区 分	令和4年度	令和3年度	早期健全化基準	備 考
実質赤字比率	—	—	12.94%	黒字のため「-」表示
連結実質赤字比率	—	—	17.94%	黒字のため「-」表示
実質公債費比率	3.6%	3.9%	25%	
将来負担比率	—	—	350%	充当可能財源等の額が将来負担額を上回り負の値になるため「-」表示

※早期健全化基準は、早期健全化・再生の必要性を判断するための基準であり、この基準以上である場合には、当該健全化判断比率を公表した年度の末日までに「財政健全化計画」を定めなければなりません。

水道事業会計決算

(単位：円)

区 分	収 入	支 出	差し引き額
収益的収支（消費税など含む）	1,804,536,435	1,520,970,790	283,565,645
資本的収支（消費税など込み）	177,904,551	515,083,896	- 337,179,345

※資本的収支不足額は、過年度損益勘定留保資金などで補填しました。

下水道事業会計決算

(単位：円)

区 分	収 入	支 出	差し引き額
収益的収支（消費税など含む）	3,107,041,287	2,913,965,199	193,076,088
資本的収支（消費税など込み）	1,058,818,551	2,042,735,515	- 983,916,964

※資本的収支不足額は、当年度損益勘定留保資金などで補填しました。

第3回 定例会 結果

今定例会では、人事3件、条例2件、補正予算5件、契約2件、決算認定3件などの審議を行いました。

市長が提出した議案

1	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
	令和5年12月31日をもって任期満了となる鈴木たけの委員を再任するもの。
2	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	令和5年9月30日をもって任期満了となる樋渡奈奈子委員の後任に大井知教氏を任命するもの。
3	監査委員の選任につき同意を求めることについて
	令和5年9月10日をもって任期満了となる板橋恵一委員の後任に根本朝栄議員を選任するもの。
4	職員の給与に関する条例及び企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例について
	新型インフルエンザ等対策特別措置法等の改正に伴い、字句の修正など所要の改正を行うもの。
5	多賀城市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
	就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の改正に伴い、引用条項の整理のため、所要の改正を行うもの。
6	工事請負契約の締結について
	令和5年度多賀城市防災行政無線（同報系）再構築工事について、工事請負契約を締結するもの。
7	工事請負変更契約の締結について
	令和5年度山王小学校校舎増築工事に係る地質調査の結果により、地盤改良の工法などを変更する必要が生じたことから、増額変更契約を締結するもの。
8	令和4年度多賀城市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
	令和4年度多賀城市水道事業会計未処分利益剰余金について、減債積立金および建設改良積立金として積み立て並びに組入資本金へ組み入れるもの。
9	令和4年度多賀城市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
	令和4年度多賀城市下水道事業会計未処分利益剰余金について、減債積立金として積み立ておよび組入資本金へ組み入れるもの。
10	令和4年度多賀城市一般会計決算及び各特別会計決算の認定について
11	令和4年度多賀城市水道事業会計決算の認定について
12	令和4年度多賀城市下水道事業会計決算の認定について

13	令和5年度多賀城市一般会計補正予算(第4号)
	山王小学校校舎増築工事に係る学校環境整備事業の増額補正を行うもの。
14	令和5年度多賀城市一般会計補正予算(第5号)
	市営大代住宅解体設計業務に係る公営住宅ストック総合改善事業および天真小学校斜面危険度判定調査業務に係る学校環境整備事業などの増額補正を行うもの。
15	令和5年度多賀城市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
	後期高齢者医療広域連合納付金の増額補正などを行うもの。
16	令和5年度多賀城市介護保険特別会計補正予算(第1号)
	令和4年度実績に基づく介護保険給付費などの国・県などへの精算返還金の増額補正などを行うもの。
17	令和5年度多賀城市下水道事業会計補正予算(第1号)
	中央雨水ポンプ場(増設棟)電気設備改築工事に係る債務負担行為の追加を行うもの。

●委員会付託・審査結果

【4,6】・・・総務産業常任委員会(可決) 【5】・・・文教厚生常任委員会(可決)

【8,9,10,11,12】・・・決算特別委員会(可決、認定) 【14,15,16,17】・・・予算特別委員会(可決)

第3回定例会 表決一覧

各議員が出した結論は

案件等の番号	自由民主党							日本共産党			公明党			未来	多	市	新	森 長 一 郎	審議結果
	大内 裕太	大場 和晃	本間 圭	千葉 文昭	佐藤 雅博	鈴木 新津男	米澤 まさ子	峪 道子	伊藤 真弓	中田 定行	阿部 正幸	根本 朝栄	齋藤 裕子	池田 純	板橋 恵一	昌浦 泰巳	竹谷 英昭		
1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	意見なし同意
2・3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		同意
4~6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		原案可決
7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○		原案可決
8・9	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○		原案可決
10~12	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○		認定
13~17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		原案可決

表示の説明 賛成は○ 反対は× 欠は欠席

※ 森 議長は公正中立の立場から表決に加わらず、無会派になります。

党派名 自由民主党=自由民主党多賀城市議団 日本共産党=日本共産党多賀城市議団

公明党=公明党多賀城市議団 未来=多賀城の未来を照らす会 多=多賀城市民の会 市=市民クラブ 新=新世紀クラブ

陳 情

●令和6年度理科教育設備整備費等補助金予算計上についてのお願い

●物価及び原油価格高騰、製造及び物流などのコスト高、人材不足及び高齢化並びに賃金引上げなど構造変化に対応した経済対策についての要望

あんなこと

こんなこと

あし あと

議論の足跡



市議会では、市長の提出案件が市民の生活へどのように寄与するのか、ひとつひとつ質疑を通して議論を重ね、採決に臨みます。第3回定例会では、決算特別委員会において、市当局との間で主に次のような質疑応答が行われました。

質 … 質問
答 … 回答

● 決算特別委員会

決算分析主要指標(令和4年度決算に係る経常収支比率)について

質 経常収支比率は何%ですか。

答 99.3%で、前年度比3.3ポイントの増加です。

質 この数字をどのように分析されていますか。

答 経常収支比率は、地方財政の弾力性を端的に示している比率として、一般的に80%以下が健全な自治体とされてきましたが、全国的な地方債の増加や高齢化社会である現代にあつては、公債費や扶助費など義務的経費が増加しているため、ボーダーとされている80%まで下げるとするのは、現実的に困難な状況です。

質 経常収支比率を下げる取り組みについて伺います。

答 自主財源である市税などの課税、滞納対策も含めて適切に行い、新たな財源を引き続き模索していくこと。また、義務的経費の支出抑制にも努めていくこと。経常収支比率を短期間で大幅に下げることが難しいため、少しずつ下げていく取り組みを行うことが大切であると考えています。

▶ 防災情報管理事業について

質 防災情報アプリの登録者数を伺います。

答 令和5年3月末で6,830人となっており、現在は7,000人を超えています。

質 防災アプリの効果をお伺いします。

答 アプリの開始から半年で、約7,000人の方にインストールしていただいております。市外の方々にも情報を受け取っていただける効果があります。

質 アプリの活用ができない方に対する対応をお伺いします。

答 防災行政無線の整備、テレホンサービス、テレビのデータ放送の活用を周知しています。



▶ 多賀城市防災情報アプリ

▶ 家庭相談事業について

質 令和4年度の本市の要保護児童のケース総数と終結件数はどうですか。

答 ケース総数78人のうち、終結数は16人で、終結率は20.5%です。

質 児童福祉機関や教育機関、保健医療機関、地域団体、人権擁護機関、警察などで構成される「要保護児童対策地域協議会」でケースの状況を共有し、連携して対応に当たっています。

質 ヤングケアラーへの支援内容はどうですか。

答 ヤングケアラーの周知、啓発に力を入れて行きたく、昨年度は講演会を開催しました。学校などとも連携しながら、ヤングケアラーの早期発見や対応などを進めていきます。

質 令和4年度の児童虐待の件数と対応についてはどうですか。

答 本市受付分は144件で、受付から48時間以内に児童の安全を現認した上で、養護者の話も聞き、重篤な場合には、児童相談所にも援助依頼や送致をしています。

妊婦出産支援事業について

質 令和4年度新規事業「お口からはじめる健康づくり」の妊婦歯科健診受診率については、どのように分析されていますか。

答 受診率は50.4%で、近隣市町と比較すると高い数字となっております。集団健診から個別健診に移行したことによる効果は大きいものと考えています。

質 妊婦歯科健診に限らず、口腔ケアの重要性や、「お口からはじめる健康づくり」の名称も多世代へ幅広く伝えていくべきだと考えますが、令和4年度はどのような取り組みとなりましたか。

答 令和4年度から始めた事業ですが、多くの方に知っていただくよう口腔ケアの重要性や、セルフケアのポイントを記載したチラシを関係団体や市内の企業などに配布するとともに、講演会を実施しました。



公立保育所運営管理事業について

質 公立保育所の定員240人に対して、入所数145人と少ないのはなぜですか。

答 一つ目の理由として、民間保育所は在園児の人数に応じて、国県及び市から保育園の運営費となる給付金が給付されることから、民間保育所を優先して調整しています。二つ目は、少子化の加速があります。本市の出生数が年々減っていて、平成27年の年間633人に対して、令和4年は年間483人で150人の減です。

質 県内で何番目に待機児童が多いのですか。

答 一番多い自治体となっています。

質 令和5年10月での待機児童数および年齢別内訳を教えてください。

答 0歳児16人、1歳児11人、2歳児4人、3歳児1人の合計32人です。

質 待機児童ゼロにもっていくことが大事ではないかと思いますが、市域を超えた受け入れは可能ですか。

答 制度上、認可保育所などへの入所は、住所地の施設に入所することが定められており、住所地以外では、認可外保育所への入所が可能です。

たがじょう心のケア教育相談事業について

質 令和4年度の不登校児童・生徒数を伺います。

答 小学校66名、中学校109名で、前年度比で1.24倍増加しています。

質 増加の要因をどのように捉えていますか。

答 個々に様々な要因があり、集団に不適応、家庭内の状況や学習面に困難を抱えていることが要因とらえています。

質 アウトリーチ支援は、どのように取り組んでいますか。

答 ※アウトリーチ支援：積極的に対象者のいる場所に出向いて働きかけることによる支援

質 令和4年度から業務委託をしており、48件の相談支援を行いました。家から出ることができないなどの児童、生徒の意思を大切に、連絡を取り合い関係性を築きながら、社会とつながる方向性の支援をしています。

質 学校以外の多様な学びの出席扱いについては、どのように対応していますか。

答 文部科学省の指針に基づき、民間機関での通所、自宅でのICTでの学習などについての要件を満たし、校長が判断して対応しています。

学校給食センター運営事業について

質 令和4年度の食材料のうち、本市産の食材料の調達割合はどのくらいですか。

答 12品目を市内から調達しており、調達割合は10.2%です。

質 他県で、給食調理業者が物価高騰等で経営破綻し、給食が提供できなくなった例がありました。本市の給食調理委託先業者から、物価高騰などでの委託費増額の相談はなかったですか。

答 そのような相談はありませんでしたが、業者から相談があった場合には、適切に対応してまいります。



▲学校給食センター(ドリームランチ多賀城)

小中学校通学区適正化事業について

質 小中学校区検討会議が開催されていますが、この会議では課題が整理されたのでしょうか。

答 市内小中学校全域の通学区適正化を検討していますが、喫緊の課題である山王小学校区に焦点を当て進めています。様々な課題がありますが、整理を進めている段階です。

質 山王小学校区保護者を対象にアンケートを実施していますが、どのような内容でしたか。

答 令和5年2月17日から3月2日まで山王小学校の1年生から4年生までの保護者と未就学児の保護者を対象に行いました。全体では、34.8%の回答をいただきました。アンケート結果の傾向としては、就学児と未就学児の保護者とは、通学区の再編に対する回答の傾向が異なり、未就学児の保護者は、通学区の再編に賛成する方の割合が高いことが分かっています。

質 アンケートの結果を保護者に示すこと、それも働いている保護者の立場を考え、チャンネルを多くして説明していただくようお願いしたいのですが、いかがですか。

答 アンケート結果を含めた現在の検討内容などを、住民や保護者の方々に対し説明していきたいと考えており、準備を進めているところです。



▲山王小学校(大規模改修前)

公園維持管理事業について

質 公園遊具点検は、525カ所すべて行っていますか。

答 すべての点検を行っています。

質 危険遊具の改修、公園施設の修繕の内容について伺います。

答 年に一度、専門業者に点検してもらい、4段階に判定しています。A「健全で改修の必要がない」48

カ所、B「やや劣化している」33カ所、C「修繕の対策が必要である」142カ所、D「異常があり早急の使用禁止」2カ所です。

質 使用禁止の場所は、どのようになりますか。

答 修繕、改修は、1、2年かけて対応しています。

質 公園草刈り業務の内容について伺います。

答 市内には、約180カ所の公園があり、地区に年1回、面積×10円＋1万円の報奨金を支払い、ボランティア精神の下管理していただいています。



▲令和4年度に設置した「市役所前公園」の遊具

地域社会DX推進事業について

※DX(デジタル・トランスフォーメーション)：デジタル技術の活用により、社会や生活のスタイルをより良いものに変革すること。

質 高橋東二区町内会の公式LINEの立ち上げ支援を行っていますが、同町内会がモデル地区に選ばれた経緯を伺います。

答 町内会長がデジタルを長く活用されている方であることを把握していたため、困り事がないかを尋ねたところ、情報共有の即時性や若い方への働き掛けに問題意識を持っていることが分かり、デジタルを活用した支援を行うことになりました。

質 公式LINE立ち上げ後の取り組みはありますか。

答 令和5年3月1日に運用が開始され、9月下旬時点で約160人の方が登録をされています。その方々に向けて、ゴミの回収、地域のイベント、町内会誌の発行情報などがプッシュ通知で配信されています。

個人番号制度管理運用事業に ついて

質 マイナンバーの紐付け誤りに
ついて、本市の状況を伺います。

答 本市に住民登録をされている方
については、住民基本台帳シス
テムに正しいマイナンバーが初めから
紐付けされています。住民登録をされ
ていない方のうち、マイナンバーが分
からない方については、「名前、住所
性別、生年月日」の4情報がそろって
いる状態で個人を特定し、紐付けを行
っています。今回紐付け誤りが見つか
った他の機関では、4情報がそろって
いない状態で紐付け作業を行ったよう
です。



上水道料金について

質 令和4年度の損益計算書におけ
る決算では、約2億5千500
万円の純利益が計上されました。料金
の値下げを検討しなかつたのですか。

答 給水収益自体は、減少傾向にあ
ります。経営努力も併せて利益
を計上できていますが、給水人口の減
少により、今後給水収益は下がってい
くと予想されますので、料金改定は考
えておりません。当初の予定どおり令
和6年度まで、現行の料金を継続した
いと考えています。

下水道事業経営健全化事業(汚水) について

質 汚水事業は、約8,887万円
の赤字です。有収水量や使用料
収入の現状と今後の推移についてどの
ように見込んでいますか。

答 有収水量と使用料収入はコロナ
禍以前の状況に戻りつつある状
況で、減少傾向にあります。今後、人
口減少に伴い、ともに減少していくと
見込んでいます。

質 建設改良費については、どう見
通していますか。

答 現在は減少傾向にありますが、
今後、耐用年数の経過に伴い、
管路の老朽化対策などで増加すると見
込んでいます。

質 企業債については、どう見通し
ていますか。

答 現状は減少傾向ですが、今後、
施設の更新需要が高まることか
ら、増加を予測しています。

質 汚水管へ入り込む不排水にはど
う取り組んでいますか。

答 管路のカメラ点検やマンホール
点検を行い、修繕工事を行って
います。



質 受益者負担の観点から下水道使
用料の改定が喫緊の課題となっ
ていますが、どう考えていますか。

答 経費回収率100%を目指すべ
きと考えていますが、経営の効
率化による経費削減に取り組みつつ、
事業を取り巻く状況を踏まえながら、
適切な使用料について検証してまいり
ます。



令和4年度決算

賛成・反対討論



賛成

職員の努力が随所に現れた決算

自由民主党多賀城市議員 鈴木 木 新津男

令和4年度は、将来都市像として掲げた「日々のよろこびくらむまち 史都 多賀城」の実現に向け「チルドレンファースト」の考えのもと庁内一丸となり事業展開してきました。本市財政の根幹となる市税収入については、約83億8千885万となり、前年度より約2億円の増収となっております。

令和4年度もコロナ感染症の猛威に悩まされた1年でした。塩釜医師会と連携し、市内各医療機関などで市民に延べ62,235回のコロナワクチンの接種を行っていただき、市民の健康維持に努めていただきました。また、各種支援金の支給や割増商品券発行事業などにより、市民生活の支援に大きな効果を上げたものと評価しています。

鶴ヶ谷保育園の認定こども園移行に伴う施設整備への補助を行いました。素晴らしい園舎が完成し、子供たちものびのびと過ごすことができ、待機児童の解消にもつながっています。

子ども医療費助成事業は、令和4年10月から所得制限を撤廃し、

子供たちは等しく医療費助成事業を受けております。

小中学校通学区域適正化事業では、児童数増加の山王小学校が過大校にならないよう、一歩進めて検討を重ねていただいております。スピード感をもって結論を導いてほしいと考えます。

多賀城南門が完成し、現在は築地塀の復元工事が進められております。周辺整備も着々と進められ、創建1300年記念事業が、国を挙げての事業になることを期待しております。

大区画ほ場整備促進事業は、長きにわたる事業が完了し、農業生産性向上と農業構造改善の基盤が整備されました。

水道事業においては、約2億5千万円の純利益の計上となり有収率の向上も図られています。今後は、岡田水源の廃止に伴う施設の撤去に約13億円と多額の費用が必要となります。利益や内部留保資金を適切に活用し、将来世代に過分の負担を残すことがないよう、さらなる努力をお願いし賛成討論と致します。

賛成

「史都多賀城の都市像」構築に向け 第六次多賀城市総合計画二年目の重点施策推進の決算

公明党多賀城市議団 齋藤裕子

東日本大震災より12年を迎え、復興のシンボルである多賀城南門が完成しました。

新型コロナウイルス感染症対策、生活困窮者に対する給付金支給及び事業者支援など、各種対策事業を実施され、当局の財政運営に対しても高く評価します。

防災減災対策では、地域防災計画の見直しとハザードマップ改定版の作成、多賀城市防災情報アプリの導入など、防災情報の構築を拡充されました。

子育て支援では、10月から子ども医療費の所得制限の撤廃や、お口から始める健康づくり事業では、妊娠出産支援で妊婦歯科健診の受診率が大きく向上し、新生児の聴覚検査助成事業の導入、産後ケア事業の充実、子育て応援アプリの導入など推進されました。学校施設では、小中学校特別教室へのエアコン設置や、ICTの学習環境が拡充され、たがじょう心のケア教育相談事業では、運営委託により、アウトリーチ支援の相談体制を拡充し、寄り添う多様な学びの

支援を推進しました。

多賀城創建1300年記念関連事業では、交流人口の促進を図る各種イベントの取り組みや、南門復元整備事業では、国府多賀城駅や周辺整備、中央公園整備には、パークPFI制度の推進をされました。またエコ未来推進事業など環境教育の促進、高齢者へのデジタル支援、デジタル回覧板などの地域課題にデジタルの活用推進、市の広報誌や、ホームページ、SNSなど、あらゆる情報発信向上にも努められた、以上の事業を高く評価致します。

特別会計は、いずれも高い収納率を維持し、疾病予防と医療費抑制の推進、各介護サービス、介護予防支援に感謝致します。水道事業は経営の効率性を示す指標は高く、経営努力を評価致します。今後の水需要の課題の経営をお願い致します。下水道事業は下水道使用料の減少に伴い、今後大規模更新や老朽化整備、下水道使用料の課題の検証をお願いし賛成討論と致します。

反対

市民が安心して暮らせ、 希望が叶うまちづくりを

日本共産党多賀城市議団 中田定行

国民に冷たい政治から住民を守る役割が多賀城市政に求められます。子ども医療費助成の所得制限撤廃、ブックスタートの開始など市民の願いに応える事業は評価します。市民に寄り添っているとはいえないものには反対します。

安心安全なまちづくりは、特に水害対策を重視する必要があります。原谷地川の河川改修の必要性については市長も認めました。原谷地川の堤防が砂押川の堤防より低く、大雨の時に内水氾濫を起こすこと。さらには原谷地川の三つある樋門がすべて動かないまま放置され危険なことを指摘してきました。原谷地川の河川改修、勿来川遊水地の土砂撤去、そして未着工の安楽寺雨水幹線整備を早急に進めるべきです。通学路の安全確保、道路の維持補修、交通事故防止対策も求められます。

暮らし応援は、困っている人に支援の手がもつと差し伸べられるべきです。市民バスは利便性の確

保を。補聴器購入の助成制度を。市営住宅用途廃止の計画は見直しを。福祉タクシーなど支援を必要としている人を切り捨てないで。市民サービスに直結する公共施設は、市の責任で存続を。

子育て支援強化と教育費の負担軽減は待ったなしです。就学援助は基準緩和を。学校給食費無償化は直ちに。特別教室や体育館へのエアコン設置を。給付制の奨学金創設を。少人数級の前進を。環境問題は、宮内の鉄粉・粉塵被害の解決を。石炭火力発電所や女川原発再稼働問題への行動を。気候危機問題に取組みを。

特別会計について、国保税子ども均等割をゼロにし子育て支援を。高齢者の医療費の窓口負担二割はやめて。国が責任を持って介護保険制度の維持を。

企業会計について、高すぎる水道料金の引き下げを。安易に下水道使用料金値上げはしないで。以上を求め、反対討論とします。

一般質問



自由民主党

大場 和晃 議員

①子育て支援について
②津波注意報、警報時の一時避難場所について

問1

おむつ定期便を行っている自治体が増えてきています。福岡市は、アプリを登録し子育て関連施設やサービスを利用するとポイントがもらえ、ポイントで育児用品と交換できるサービスを始めました。①おむつ定期便の導入予定はありますか。②子育て専用アプリ「たがすく」を利用し、福岡市のようなサービスを導入してはいかがですか。

答1

①本市では現在、出産子育て応援事業において、経済的支援とともに、妊娠期から出産・子育てまで伴走型の相談支援を行っているほか、今年度からは、産後ケア事業の充実を図り、保護者の育児不安の軽減や孤立を防止する取り組みなどを行っていることから、おむつ定期便を導入する予定はありません。②利用者の方々の声をしっかりと受け止めながら、必要なサービスについては、調査・研究をしてまいりたいと思います。

問2

夜間に津波注意報が発令された際に、一時避難場所が



▶たがじょう子育て応援アプリ「たがすく」

施設されていって入れなかったということがあります。①夜間に機能しなかったことについてどう対処しますか。②避難場所として、利用可能な時間帯を周知させるためにどうしますか。

答2

①ホームページに掲載している情報が不十分であったことによる市民への周知不足が要因であると考えており、御協力いただいている相手方とは、引き続き連携を図りながら、適切な情報発信に努めてまいります。②市民によりわかりやすい情報をお知らせするために、防災アプリをはじめとする情報ツール、出前講座、広報誌などを利用しながら周知してまいります。



日本共産党

伊藤 真弓 議員

①子どもの教育条件改善について
②学校給食の無償化について
③高齢者や障がい者の支援策の充実について

問1

①全国で教員不足が深刻です。多賀城市も、教員の未配置や長時間労働で教師は大変です。学校の業務の見直しが必要の課題です。廃止や精選したもの、あるいは今後実施予定があれば教えてください。②市独自の教職員増の考えはありますか。

答1

①「学校徴収金の徴収・管理」があげられ、学校における学校給食費の徴収や就学援助等の支給事務は、教育委員会が実施しています。②本市では、特別支援教育支援員、学習指導支援員、理科支援員等の市費職員等を配置しており、教職員の業務負担軽減を推進しています。

問2

本来、義務教育は無償です。物価高で収入が上がらない今こそ、学校給食の無償化に取り組むときであると思いますが、いかがですか。

答2

国においては、内閣府に設置している「こども未来戦略会議」において、学校給食費の無償化の実現に向けて実態把握と課題の整理を行っている

ところで、引き続きこうした国の動きを注視してまいります。

問3

①加齢性難聴者への公的補助制度の導入と、特定健診に聴力検査を加えるように求めます。②高齢者及び障がい者のバス料金無料の社会実験は、市民の意見をもとに見直しが必要だと思いますが、いかがですか。

答3

①加齢性難聴者の補聴器購入に対する補助制度創設については、令和3年11月から毎年、全国市長会において国に要望しているところです。健診の項目は、国の実施基準に定められているため、実施する考えはありません。②内容を途中で見直すことは考えておりません。



▲多賀城市コミュニティバス



自由民主党

佐藤 雅博 議員

- ① 公園管理のあり方に関して
- ② 南門周辺の一体的道路整備について

問1

① 多賀城駅前広場の利用は、数件の利用団体にとどまっています。その原因をどう捉えていますか。② 公園を利用するには、ルールを条例で定めています。使いやすいようになっていますか。③ 駅前広場では、ステージや屋根を求める声があります。関係団体と協議していただきたい。④ 南門周辺整備が進めば、賑わいづくりが急務になります。交流人口増大へとつながる具体策はありますか。⑤ 駅前広場と中央公園について、本市が考えるまちづくりに合致する団体へのイベントや、公園管理を委託する考えはありますか。

答1

① 供用開始以降、様々なイベントなどで利用されておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、昨年度までは、急激に利用数は落ち込みました。② 誰もが利用できる開かれた空間を一時的に占用して使用することになりますので、必要な手続などを行っていただくことについて御理解ください。③ 利用者団体の皆様の

問2

意見を伺いながら、検討してまいります。④ Park Pierの制度を活用し、多賀城創建1300年を契機とした賑わいづくり、交流人口の創出を目指して鋭意努めてまいります。⑤ 議員から御提案のありました方策も一つの手段でありますので、今後検討してまいります。

問2

6月定例会において、現時点では政庁南大路は、盛土による復元がふさわしいと示されました。その後の進展はありますか。

答2

現在、宮城県と本市それぞれの文化財部門及び道路部門の四者間で、大路はもとより、周辺の道路を含めた一体的整備の実現に向けて取り組んでいるところですので。



▲多賀城ピアサミット2023の様子

問1

① 高等教育費の軽減は切実な願いであり、最も力のあたる子育て支援策になります。市民からも多くの声が寄せられていることから、給付型奨学金制度を市として独自にでもつくっていただきたいが、いかがですか。② 奨学金返済負担軽減のために市として支援策を講じていただきたいが、いかがですか。③ 給付型奨学金の拡充と条件緩和を国に要請していただきたいが、いかがですか。

答1

① 国が中心となり、責任をもって推進すべきものと考えていることから、市独自で給付型奨学金制度を創設する予定はありません。② 国等が出資し、創設・運営している制度であり、運営主体が改善・支援すべきと考えていますので、市独自で奨学金の返済負担軽減策を講ずる予定はありません。③ 国から示された「ごども未来戦略方針」において、奨学金の対象拡大や授業料減免などが検討されていることから、国の動向を注視してまいります。

問2

① 市で国民健康保険税子ども均等割を巨理町のように全額減免していただきたいが、いかがですか。② 国の子ども均等割の減免対象を大幅に引き上げるよう、強く国に働きかけていただきたいが、いかがですか。

答2

① 市独自に子ども均等割の全額軽減を実施する場合の財源としては、財政調整基金の活用が考えられますが、このことにより財政調整基金の残高が急速に減少することが想定され、国民健康保険税の税率引き上げを検討する必要があります。また、現在、県内の国民健康保険税水準の統一に向けて検討が進められているところでもあり、現在のところ、子ども均等割の本市独自の軽減を行う考えはありません。② 令和5年度において、全国市長会や宮城県市長会から国の関係省庁に対し、要望を行っているところですので。



日本共産党

峪 道子 議員

- ① 給付型奨学金の創設、拡充と返済に困難を抱えている方の支援策について
- ② 国民健康保険税の子ども均等割の全額減免について

一般質問



自由民主党

大内 裕太 議員

- 1 多賀城創建1300年に向けた取り組みについて
- 2 ICT活用による行政事務の効率化について
- 3 中学校部活動地域移行について

問1 多賀城創建1300年を契機に本市の観光・物産振興を図るためには、民間事業者および関係団体などと連携し、観光消費額増加に向けた取組を推進すべきと考えるが、いかがか。

答1 「Webフォームの作成機能」を新たに追加することとしており、まずは庁内においてその利用を図り、その後、対外的な利用について検討を進めてまいります。

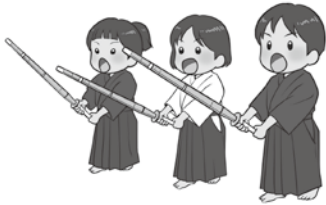
問2 関係団体との連携としましては、多賀城・七ヶ浜商工会が中心となり、奈良時代の宮廷料理再現に取り組んでいただいております。観光協会は来年、令和の大茶会が開催されることを契機として、古代米茶の万葉茶房の開催を計画していただいております。その他、みちのく潮風トレイルなど、様々な団体から連携事業の提案をいただいているところですので。

問3 現在の本市における進捗状況と課題について伺います。

答3 これまで学校の中で部活動が担ってきた教育的役割の在り方や受け皿の確保、大会の見直しなど多くの課題があります。これらの課題を受けて、教員、保護者、児童・生徒に対するアンケートの実施、部活動担当教員との意見交換などや、地域移行の受け皿となる市民スポーツ団体にに向けた多賀城市民スポーツクラブによる研修会を行い、本市にあった地域移行の進め方を検討しているところですので。

問2 住民サービスを充実させるために、行政の仕事の進め方にも変化が必要と感じています。関係機関等へのアンケート調査などはWebフォームを活用し、行政事務の効率化を図ってはいかがか。

答2 今年度、更新を行う職員用のグループウェアには、



公明党

阿部 正幸 議員

- 1 多賀城創建1300年記念事業について
- 2 南門周辺の整備について
- 3 市営住宅の照明(LED)の整備について

問1 「多賀城応援団」として任命した方々に御協力をいただき、多賀城創建1300年記念事業としてコンサート等を開催してはいかがでしょうかですか。

問3 LED化の整備されていない市営住宅に対して、LED化の整備をしていただきたいが、いかがですか。

答1 せっかく御縁をいただいた「多賀城応援団」の皆様とともに、多賀城創建1300年を盛り上げていくことができれば大変ありがたいことですので、こつした趣旨に御賛同いただける多賀城応援団の皆様とともに、自主企画公演について相談させていただきます。

答3 市営住宅におけるLED化の整備は、照明設備を本体から交換更新する必要があります。このほか、市営住宅の躯体や設備全般に関して更新時期を迎えつつあるため、優先度も加味して、大規模改修に係る計画を策定し、建物全体を通して改修を計画的に実施していく必要があると考えております。このことから、建物全体の大規模改修計画の策定作業の中で、できるだけ早期に考えてまいります。

問2 南門周辺に、多賀城のお土産を購入できる場所や、レストランなど食事ができる場所等の建設をしていただきたいが、いかがですか。

答2 Parkirpfiによる民間事業者の施設整備は、令和6年11月以降に着手する予定で業務を進めておりますので、多賀城創建1300年記念事業の際は、あやめ園側の多目的芝生広場等を仮設店舗の設置場所として、観光振興や「おもてな



▶多賀城跡前官衙エリアでの野外ピアノコンサートの様子



市民クラブ

昌浦 泰巳 議員

障害児通所支援について

問

私の9回目最初で通算125回目の質問は、8月の選挙期間中に御要望をいただいた中で、一番印象が深かった障害児通所支援について取り上げました。いつもなら、ノートにメモを書き込み、資料を貼付したりして十分研究して質問します。今回は、急いでペンを持ちました。①市は、市内在住で障害児通所支援サービスを利用しているお子さんの全数を把握されていますか。その数は、年々増えていきますか。②市内の障害児通所支援事業所は、需要に相当していますか。③医療的ケアが必要な児童の日の居場所は、どのようなになっていますか。

答

①令和4年度において、就学前の方が利用する「児童発達支援サービス」、就学している方が利用する「放課後等デイサービス」については、計185名となっており、年々増えている状況です。②市内・市外



の事業所合わせてということになります。本市における障害児通所支援サービスとしては、需要に比べられているものと考えています。③医療・福祉の関係機関と連携して医療的ケアを要する子供を把握し、その子の状態やその家族のおかれた環境等を踏まえながら、適切な支援を実施しています。本市の施設での受け入れ状況としては、現在は、児童発達支援センター太陽の家に2名、公立保育所に1名在籍しています。市内小中学校に医療的ケアが必要な児童・生徒は在籍していません。

問1

①熱中症対策として小中学校などに冷水器設置のお考えを伺います。②熱中症対策として公共施設などにクーリングシェルター(暑熱避難の場)を設置し、市民に開放する考えを伺います。

答1

①学校活動において熱中症対策を徹底しておりますので、現時点においては冷水器の設置は考えておりません。②現在、国における熱中症対策推進検討会において、指定暑熱避難施設等に関する基準等の検討がされており、その基準に関する環境省令が公布された後に、本市においても検討してまいります。

問2

胃がん予防、早期発見のために、胃がん検診にピロリ菌検査と内視鏡検査を導入することの考えを伺います。

答2

ピロリ菌検査は、現在国の方針として、慎重に対応する必要があるとされており、現時点での検診への導入の予定はありません。内視鏡検査の導入については、医師会や二市三町、

問3

①HPVワクチン接種勧奨の取り組みについて伺います。②男性へのHPVワクチン接種の重要性、周知について伺います。

答3

①広報誌やホームページによる周知、啓発活動と、全ての定期接種の対象者及び新たに対象となる小学校6年生になる年代の対象者に対し、予診票に加え、接種対象者とその保護者がワクチンの有効性や安全性を理解した上で、ワクチン接種の判断ができるような接種勧奨に取り組んでおります。②性別の区別なく、ホームページやSNSなどを活用し、国の動向をみながら的確な情報を発信してまいります。



公明党

齋藤 裕子 議員

①熱中症対策について
②胃がん対策について
③若い世代の子宮頸がん対策について



▲岩沼市立岩沼中学校に設置されている冷水器

定例会一般質問



日本共産党

中田 定行 議員

市民の暮らしを守る施策への変更を

問1 公共施設等総合管理計画について①市民サービスに直結する公共施設は存続するべきです。計画の策定状況はどうなっていますか。②志引保育所廃止解体の経過とその真意は何ですか。

答1 ①令和5年度中に公共施設等総合管理計画を見直すこととしております。同時に、現在、縮充の視点を取り入れ、既存施設の集約化や存廃を含めた見直し作業を進めているところです。②新たな洪水浸水区域および津波浸水区域が示されたことなどから、平成28年10月に策定しました「多賀城市公立保育所再編計画当該計画」を令和5年6月に見直し、八幡保育所を基幹保育所に位置づけ、代わりに志引保育所の施設方針を廃止とすることとしたものであり、計画策定当初から公立保育所を2カ所とする方針は変わっておりませんので、御理解ください。

問2 公営住宅等長寿命化計画で4市営住宅の廃止が発表されました。修繕・建て替えて住環境

境を守るべきです。いかがですか。

答2 市営住宅に関する今後の推進方策については、市議会の皆様の御理解を得て進めているものと考えておりますので、将来を見据えた持続可能な市営住宅の管理運営を図るため、策定した計画に基づく取り組みを今後も推進してまいります。

問3 障害者及び高齢者支援事業の一部見直しについて、10月から3事業の見直し・廃止が実施されます。あまりにも市民に冷たい市政です。難病や障害を持つている困っている人に支援の手を差し伸べる施策に見直すよう求めます。

答3 特に金銭的な負担が大きくなる非課税世帯の障害者の方々に対し、その負担を軽減するための福祉的な助成を行うものとして見直しを実施するものです。



▲志引保育所



多賀城の未来を照らす会

池田 純 議員

東北学院大学多賀城キャンパス跡地の再開発について

問 東北学院大学多賀城キャンパスの跡地について、東北学院が住宅メーカー大手に売却したとの報道が出ましたが、以下について伺います。①現時点で把握している大学跡地の再開発の内容について②住宅メーカーと連携協定を締結し、まちづくりを協働で進める意向との報道もありましたが、連携協定の内容や今後の協議スケジュールについて③大学跡地に、体育館や市民プールなどの公共施設などの移転集約等を行う予定はありますか。④地元町内会や市民に対しての情報公開を、本市としても責任をもって行ってほしいがどうですか。

答 ①現時点では一戸建て住宅やカフェなどの商業施設、保育施設やクリニックなどの医療施設、フィットネスなどのスポーツ施設を想定し、目下「多世代に魅力的な地域の拠点」とするべく、計画づくりが進められているものと承知しています。

②相手からも連携協定について前向きな回答をいただきましたので、現在、その内容や締結時期について協議を進めているところです。③あらゆることを排除せずに、あの土地を生かすために必要なことなのかということとを、第六次総合計画と照らし合わせながら判断をしたいです。④適時適切な時期を見ながら、皆様に御説明をしたいと思っております。



他の質問項目

問 多賀城市議会議員選挙の総括と投票率向上への取組について

問 子育てしやすいまちづくりに向けて

問 多賀城創建1300年に向けたプロモーションと観光施策について

新体制の広報特別委員会を紹介

今回から新たな体制で、多賀城市議会だより発行を担当してまいります。「開かれた議会」を目指し、市民の皆様にも市議会の活動状況を分かりやすくお伝えできるよう、6人の委員全員で取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

(委員長 佐藤 雅博)



左写真

伊藤真弓委員 大内裕太委員 大場和晃委員 池田 純委員
齋藤裕子副委員長 佐藤雅博委員長



令和5年 第4回定例会



次回の定例会の開催は、

12月上旬からの予定です。

- 正式な日程は、決まり次第、広報多賀城・市ホームページでお知らせします。
- 定例会本会議、予算・決算特別委員会、常任委員会は、YouTubeでもご覧いただけます。
- 市議会会議録は、市ホームページでもご覧いただけます。

スマートフォンで議会中継を
ご覧になりたい方のアクセス
はこちらから



※傍聴においての際は、これまでどおり西庁舎の
3階議会事務局で受付をお願いいたします。

本会議場の役目を終えて

—半世紀を超える歴史に幕—

本年11月からの新北庁舎供用開始に伴い、昭和45年から長年にわたり、議会と当局との議論が重ねられてきた舞台であった「議場」が、その役目を終えたことから、第3回市議会定例会最終日の10月25日に「閉場式」を開催しました。

式では、森長一郎議長、深谷晃祐市長が挨拶を行い、最古参議員である竹谷英昭議員から思い出が語られました。皆さんから、市勢発展のための議場での歴史や、先輩方の思いを受け継ぎ、これからもよりよいまちづくりの方策を検討、議論していくと決意が示されました。出席者全員が半世紀にわたる月日に思いをさせ、長年にわたる「議場」の歴史に幕を下ろしました。



出席者による閉場式後の記念撮影

新しい本会議場を紹介します



議員席

令和5年12月開催の第4回市議会定例会から、新しい本会議場の運用が開始されます。傍聴席へ向かう通路はバリアフリー化され、障害をお持ちの方々にも、安心しておいでいただけるよう設計されています。新しい議場で、新しい感覚で新しい風を吹かせ政策の議論を積み重ね、市議会が当局と車の両輪となり、更なる住民福祉の向上に努めてまいります。どうぞお気軽に、新議場での議論の傍聴においでください。

新しい傍聴席



スロープを
設置しています



車いす専用
スペースを
設けています



議長席



議長席から見た議場内

左側 市当局席

右側 議員席

今回の表紙

市内中学校生徒会の皆さんをシリーズで御紹介します。

今回御紹介するのは、上級生からのバトンを引き継ぎ、10月から活動を開始した多賀城市立第二中学校の生徒会役員の皆さんです。皆さんに、「生徒会の活動」、「第二中学校の自慢」や「多賀城市の魅力」などについてインタビューしました。

★生徒会の活動

●生徒会ラジオ

○月1回程度昼休みに校内放送で「生徒会ラジオ」と称し、中総体、新人戦への意気込みや身近なエピソードなどをインタビュー方式で行い、全校生徒に紹介しています。

●生徒会ボランティア活動

○タブレット募集フォームを活用して参加者を募り、年に3回程度放課後の時間を使って学校敷地内の環境整備（草むしり）を実施しています。通学時のゴミ拾いなど、校外で活動することもあります。

★多二中をこんな学校にしたい

○学年やクラス、部活動など関係なく、互いに支えあい、尊重しあえる学校へ！！

★多二中のここが自慢

○活発な生徒が多く、全員が行事やボランティア活動に対して協力的です。

★多賀城市のここが好き！！

- 都会でもなく田舎過ぎず、ちょうど良い。買い物とかも便利。
- 東北歴史博物館や史跡など歴史的な環境に恵まれている。
- 地域の皆さんがあいさつを返してくれる。優しい。
- 他県から帰ってくると、“帰ってきたなあ”と感じる。



生徒会活動のお話をする皆さんの顔つきは、しっかりと未来を見据えたリーダーのような表情をしていました。第二中学校や多賀城市に関する質問では、素敵な笑顔で地元についてお話ししていただきました。お伺いした際にはタブレットを机に準備し使いこなし、一方で地域の方々とのあいさつや会話をとても大切にしていることに感心しました。第二中学校がこれまで以上に活気あふれる学校となるように、応援しています。頑張れ多二中！頑張れ多二中学生！

(レポーター 大内 裕太)

編集後記

酷暑の中での選挙戦が終了し、新人議員7名が加わり第3回定例会は議会人事、令和4年度決算の認定、令和5年度補正予算案などの審議、質疑が行われ37日間の会期日程にて終えました。

初議会となる新人議員が一般質問する場面では、支援者が多く訪れ、晴れ舞台を一目見ようと傍聴する姿がありました。一般質問や各委員会質疑においては、言論の府にふさわしい活発な政策議論が行われ、議論の足跡は着実に残されたと思います。

編集内容の向上を目指している広報特別委員会は、新たに選任された6名のメンバーで力を合わせ、研鑽を積み重ね、読み手の立場を重視した「議会だより」の編集に努めてまいります。

どうぞ、よろしくお願いたします。

(佐藤 雅博)

広報特別委員会

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
大場	大内	池田	伊藤	齋藤	佐藤
和晃	裕太	純	真弓	裕子	雅博